

バレエを始めたのは五歳のときです。母がバレエが好きで、一緒に観に行くうちに、私もやってみたくて思いました。始めてみたら本当に楽しくて、絶対にバレリーナになるんだと思いつつ踊っていましたね。

つらいとか、やめたいと思ったことは、一度もありません。ただ、学生の頃は学業との両立に苦労しました。「ドン・キホーテ」のキューピッド役が初めていただいた大役なのですが、その時は中学二年生で、ちょうど学校のテストと重なってしまっていて、それを乗り越えられたことが自信につながり、今ではいい思い出になっています。

これまでの役で一番気に入っているのは、「眠れる森の美女」のオーロラ姫です。いつも、役をいただと原作本を読んだり、外国のいろいろなバージョンのビデオを観たりして、イメージを膨らませていきます。オーロラ姫の心の動きには私も共感できる部分がとても多くて、役に入り込みやすかったですし表現しやすかったですね。

オ フの日は、ウォーキングをすることが多いです。家の近所を、トレーニングもかねてただただひたすら歩きます。あとは映画を観たり、本を読んだり。

池波正太郎さんの大ファンなんです。五、六年前に初めて彼の『藤枝梅安』を読んだのですが、それ以来ハマってしまっています。どの作品も好きですが、一番好きなのはやっぱり『鬼平犯科帳』ですね。本は、お風呂の中で読むことが多いんですよ。お風呂に入りの入浴剤を入れて、本を持ち込んで汗をだらだらかきながら読

みます。そんな調子で、いつもお風呂には一時間近くつかっていますね。

去

年は新国立劇場の柿落^{こけり}としのオープニング公演で「眠れる森の美女」と「くるみ割り人形」を踊らせていただきました。もともとすごいあがり性なので、いつも舞台にでる時には緊張しますが、そういう不安や悩みを解消するには、とにかく自分で納得するまで練習をするしかないんです。そして、舞台が始まったから、練習してきたことが出されるように自分を信じて祈るだけ。今回は、いつもにも増してプレッシャーやストレスがあった、精神的にも肉体的にもとても大変でしたが、こんなにいい劇場で踊れるのだからというのを励みにがんばりました。だから、今回 芸術選奨文部大臣新人賞をいただいたことは、ものすごくうれしいですね。

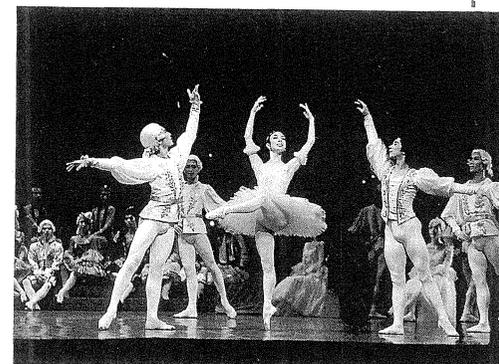
これに甘んじることなく、これまで以上に努力して、いつかは海外でも勉強できればと思っています。フランスやイギリスなどで、その空気や歴史を肌で感じながら踊ってみたいですね。でも、海外に行くには、よほど自己管理ができないと逆効果になってしまう気もして。だから私は、今はまず日本で基礎をしっかりと固めて、自分の土台をつくりたいです。

今後は、「ロミオとジュリエット」、「ジゼル」などのドラマチックな役をやってみたいですね。

目標は森下洋子さん。技術の高さや踊りの丁寧さ、そして何よりも踊りに心があって、完全な踊りをなされる森下さんにとってもあこがれます。

今月のゲスト

酒井はなさん



酒井はな & 小嶋直也「くるみ割り人形」
©瀬戸秀美

観てくださる方の息がつかまってしまうような堅い動きではなく、自然に流れるような、歩くような踊りができるように、今後ともがんばっていききたいと思っています。

(取材・構成／編集係)

Cross Road

観てくださる方が苦しくなるような堅い動きではなく、自然に流れる歩くようなバレエが踊れたら……

さかい・はな
ソリスト。枚
5歳でバレエ
枚阿佐美・三
キホーテ」の
団、「くるみ割
団公演「白鳥
ーテ」97年の
るみ割り人
新人賞受賞。
待される若手

バレリーナ。新国立劇場シーズン契約ダンサー。舞美バレエ団員。1974年米國・シアトル生まれ。始め、畑佐俊明に師事。63年に橋バレエ学校入学、森三に師事。89年枚阿佐美バレエ団公演「ドン・キホーテ」で注目をされる。93年同バレエ団に入り、キューピッド役で主役デビューを果たす。以後、同バレエ団公演「ラ・フィエユ・マル・ガルテ」「ドン・キホーテ」で主役を踊る。96年村松賞、舞踊批評家協会賞、9年度芸術選奨文部大臣新人賞受賞。将来を期待される若手

